

気軽にきてみて 愛川町!

圏央道の開通で、さらに便利に!
都心から50km圏内で、日帰り小旅行♪

神奈川県中央北部に位置し、都心から50km圏内、横浜から30km圏内にあり、町の西部には丹沢山塊の東端にあたる仏果山を最高峰とする山並みが連なり、東南部は相模川と中津川にはさまれた標高100m前後の台地が広がる中央部のくびれた“ひょうたん形”の地形となっています。山あり、川あり、自然と調和した美しい緑豊かな町が形成されています。

宮ヶ瀬ダム



中津川での水遊び

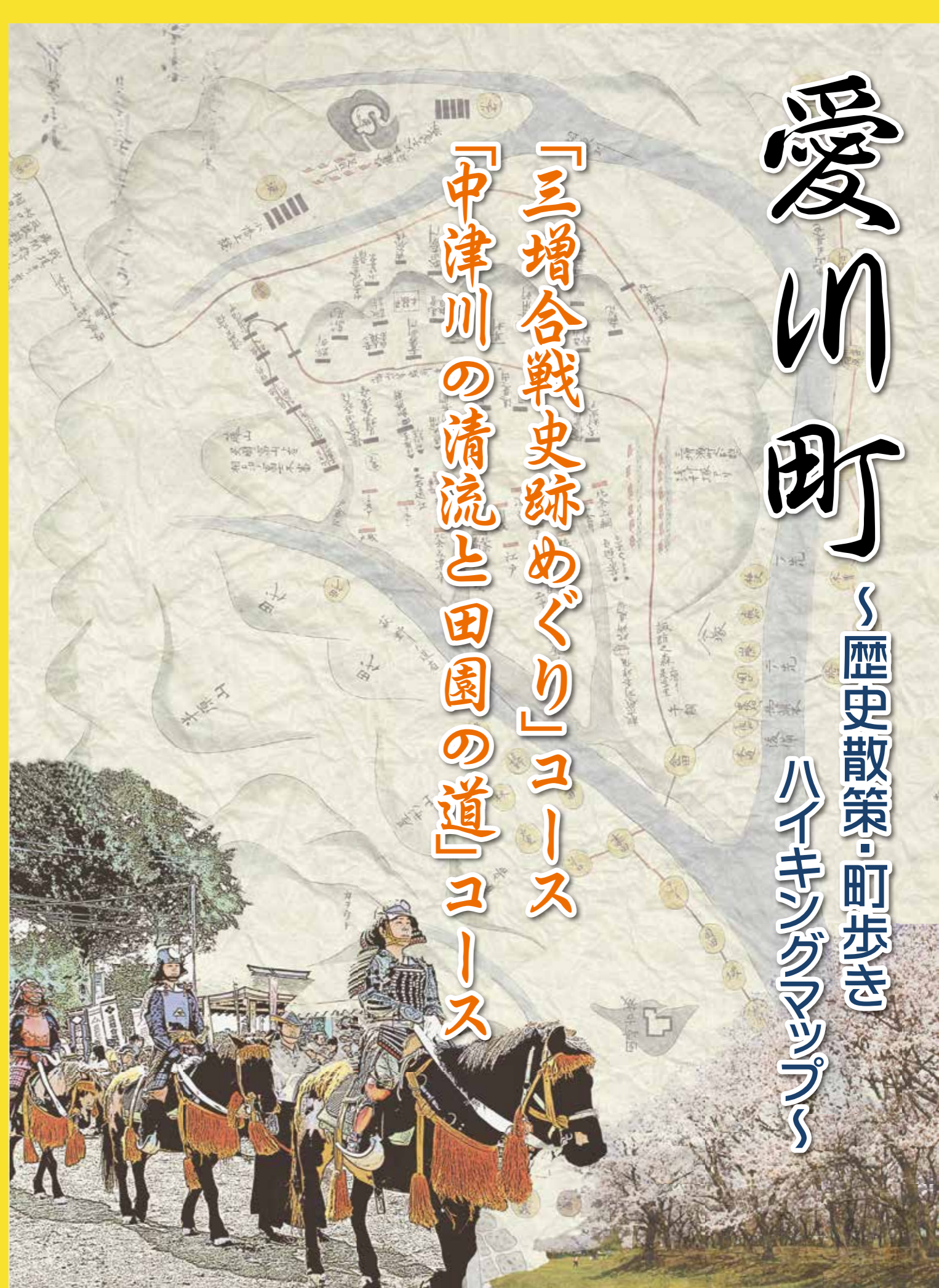
服部牧場



自動車を利用の場合

- ◎ 圏央道「相模原愛川インターチェンジ」から
国道129号を利用し、神奈川県内陸工業団地・中津方面へ
- ◎ 圏央道「相模原インターチェンジ」から
県道510号経由で、県道65号または国道412号を宮ヶ瀬ダム・半原方面へ

愛がふたつある町 神奈川県**愛**甲郡**愛**川町



「三増合戦史跡めぐり」コース
「中津川の清流と田園の道」コース

愛川町
歴史散策・町歩き
ハイキングマップ

「三増合戦史跡めぐり」コース

戦国時代の激戦「三増合戦」とは 1569年(永禄12年)10月、甲斐の武田信玄と小田原の北条氏康の軍が戦った、名高い山岳戦「三増合戦(三増峠の戦い)」。史書「甲陽軍鑑」には、戦死者は北条方3,269人、武田方900人と記されています。

合戦の序盤は、北条綱成が指揮する鉄砲隊の銃撃により、武田軍左翼の侍大将・浅利信種が撃たれるなど、北条軍有利に経過。しかし、武田軍の山県昌景率いる5千の精兵が高所から奇襲に出ると戦況は一気に傾き、北条軍の後軍が間に合わなかったことも影響して、最終的には武田軍が勝利したそうです。激しい戦を物語るかのように、この一帯からは、刀や槍、鉄砲の弾などが出土しています。また、「武田信玄の旗立松」「浅利墓所と浅利明神」「首塚」などの史跡が残っています。

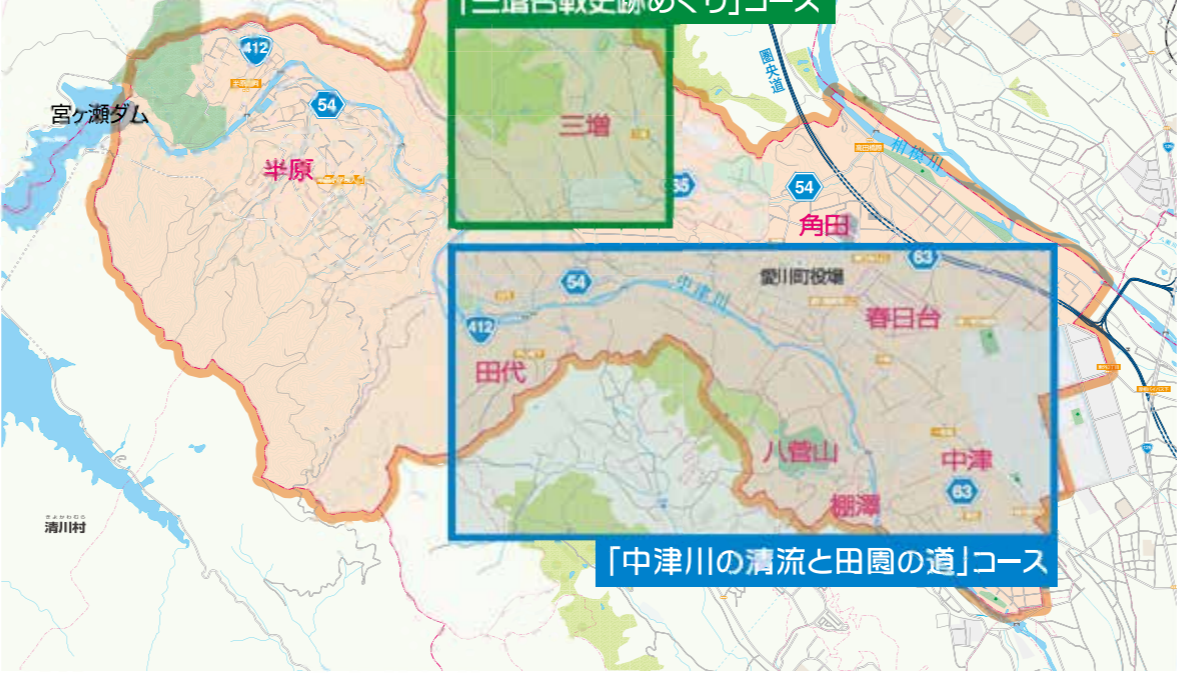
毎年秋には、戦国絵巻を今に再現する「三増合戦まつり」が合戦場跡で開催されています。

コース案内

上三増バス停～浅利墓所と浅利明神～武田信玄の旗立松
首塚～三増合戦場跡～三増バス停

所要時間 約2時間 コース距離 約6km

愛川町広域MAP



「三増合戦史跡めぐり」コース

「中津川の清流と田園の道」コース

「中津川の清流と田園の道」コース

～新日本歩く道紀行100選 ふるさとの道～

「新日本歩く道紀行100選」とは

地域の資源として選ばれた道歩く、アウトドアツーリズムを促進することによって、地域の活力を創出することや歩くことにより、活力ある健康寿命の延伸に貢献することなどを目的に、「新日本歩く道紀行100選選考委員会」が、地域の誇るべき道を認定しているものです。

豊かな自然を有する愛川町では、中津川の清流と田園風景を巡るコースを「新日本歩く道紀行100選、ふるさとの道」に応募し、平成27年に認定されています。

コース案内

半僧坊前バス停～勝楽寺～平山橋～戸倉(堤防敷き)
～角田大橋～八菅橋～若宮～坂本バス停

所要時間 約2時間 コース距離 約7km

